

---

# 『驚異の電撃スパイ大作戦』

たくやんか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『驚異の電撃スパイ大作戦』

### 【Zコード】

Z5859Z

### 【作者名】

たくやんか

### 【あらすじ】

魔法少女リリカルなのはの二次創作です。ミッションインボッシュブルや007みたいなものを作りたく書きました。ハイ！最近見ました。よろしくお願いします。

## 自己紹介

さて、憂鬱だが自己紹介から始めようか。

俺の名前は、『エドガー・ホライゾン』。年齢13歳の健全なる男だ。

好きな服装は、ブリティッシュジャケットやデザートシューズが似合つものなら何でも。

好きな趣味は、映像作品を観賞する事と最近になって始めたロッカクライミング。

好みの女性のタイプは、と聞かれたら知的な女性と言つてしまふ。暴走しがちな自分を戒めてくれる人がいい。

現在は、海鳴市にある中学校に身分を偽つて、学生をやつしている。何故、身分を偽るかと尋ねられたら、こう答へよう。

俺は、ある組織の諜報員をしている。  
つまり、職業はエージェントだ。

組織の名前は『时空捜査局』。秘密裏に作られた組織で、その存在を知るものは少ない。かの有名な『时空管理局』と対を張れ（そう長官が言つていた）、主に表せたに出せない危険な任務を行う。俺は、その組織のエージェントの一人だ。

『エージェント・ホライゾン』と呼ばれている。

ああ、気がついたらうから言つけど、『エドガー・ホライゾン』は仮の名前だ。本名？それは教えられないな。理由は分かるだろ？

赤ん坊の時の記憶は無いが、物心ついた時には  
、エージェントとしての訓練を受けていた。過酷な訓練で、思い出

すと今でも頭が痛くなる。本当に訓練漬けだったよ。でも、あの時の熾烈さがあるから俺は今でも任務をこなせる。

先に言つておくけど、別に一般常識を知らない人間じやないからな。ただ、ちょっとだけ皆と時間の使い方が違つていただけだからな。

現在、中学校に通つている理由は、通常の任務とは別にある3人の人物の監視を命じられている。この任務は、管理局の方からの頼まれ事なので、両局の関係を良好なものにするためには必要不可欠なものだ。とても、重要な人物らしく、かなりの覚悟で挑まねばならない。

内容は監視。

3名が时空管理局以外の別組織に引き抜かれ、その力を悪用されないように見張り、場合によつては、近づいてきた者達を排除するといったものだ。

そして、万が一にも3名の人物がそついた引き抜きを承諾した場合、3名を抹殺するといった内容も含まれている。

実は、この抹殺内容のみ、『时空捜査局』の任務内容で『时空管理局』の依頼内容とは違つてている。両局の意見が食い違つてはいるが、俺は『时空捜査局』の人間。

その方が一の気持ちの整理はついていりし、決心は出来てゐる。はつきり言おう。

もし、その時が来たら、俺は迷わず3名を殺す。抹殺すると。

『高町なのは』。

『フロイト・T・ハラオウン』。

『八神はやて』。

俺の任務は彼女達3名の監視。別勢力の排除。起きてしまった方が一の事態の場合は、彼女達の抹殺。

「の3点だ。

さて、もう一つだけ言おう。

俺の所属している組織は、もし俺自身がヘマをしてしまった場合、助けてはくれない。

俗に言つ『当局は一切関与しない』だ。

この場合のヘマとは、

- ・俺が魔導士とばれる事
- ・俺の正体がばれる事
- ・時空捜査局の存在が知られそうになる事

この事態が起きてしまった場合、俺は管理局にて取り調べを受け、対応次第では犯罪者のレッテルを貼られ、檻に入る可能性がある。何故か？結構はみ出しちゃってるのさ、法律からな。

もしかしたら、捜査局に俺自身が始末される可能性もある。

彼女達に俺の事が知られる事。それすなわち、俺の命が無くなる事。

これは互いに命懸けの任務なのだ。

彼女達を見張りつつ、自身は徹底的に隠さねばならない。

ただでさえ、キツイ任務に加え、この別任務。  
ほんと、ストレスが溜まる。

金髪、赤目の姿を黒髪、茶色目に変えて、日本名『久我島栄斗』  
と名乗り、俺は今日も登校する。

驚異の任務をこなしながら……。

それが『エージェント・ホライゾン』の今だ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5859z/>

---

『驚異の電撃スパイ大作戦』

2011年12月19日18時53分発行